



# 令和元年度 果樹情報 第20号

(令和2年3月25日)

果樹類の発育予測

福島県農林水産部農業振興課



- 1 気象概況（3月上中旬：果樹研究所）  
 3月上中旬の平均気温は平年に比べ高く、1半旬が1.1℃、2半旬が4.0℃、3半旬が2.3℃、4半旬が1.7℃高く経過しました。  
 この期間の降水量は37.0mmで平年の80%でした。

- 2 発芽状況（果樹研究所 3月24日現在）  
 もも「あかつき」の発芽は3月19日で平年より6日、昨年より1日早くなりました。なし「幸水」の発芽は3月23日で平年より10日、昨年より2日早くなりました。りんごの発芽は未だ確認されていません。

表1 発芽状況

	本年	発芽	
		平年	昨年
あかつき	3月19日	3月25日	3月20日
ゆうぞら	3月19日	3月26日	3月20日
幸水	3月23日	4月2日	3月25日
豊水	3月22日	3月31日	3月22日
つがる	未発芽	3月26日	3月21日
ふじ	未発芽	3月28日	3月22日

注) 平年は1986～2015年の平均値。

- 3 開花予測（果樹研究所における3月24日時点での予測）  
 今後の気温が平年より2℃高く経過した場合、もも「あかつき」の開花始めは4月7日で平年より7日早く、なし「幸水」の開花始めは4月13日で平年より8日早く、りんご「ふじ」の開花始めは4月20日で平年より6日早いと予測されます。  
 なお、この時期の生育は直前の気温の影響が大きいため、今後の気温の推移により大きく変動する可能性があるので注意してください。

表2 開花予測日〔予測方法：発育速度（DVR）モデルによる発育予測〕

	開花始め		今後の気温経過		
	昨年	平年	平年並み	2℃高い	2℃低い
あかつき	4月3日	4月14日	4月10日	4月7日	4月13日
幸水	4月11日	4月21日	4月18日	4月13日	4月23日
ふじ	4月17日	4月26日	4月25日	4月20日	4月30日

注) 発芽日の平年は1986～2015年の平均値。

#### 4 病虫害防除上の留意点

発芽前の防除は、発芽状況を確認しながら、温暖無風の日を選んで遅れないように確実に実施しましょう。

##### (1) りんご

近年、腐らん病の発生が多くなっています。休眠期の防除を徹底するとともに、発病部は削り取るかせん除しましょう。

輪紋病の発生が多い園等で枝幹にいぼ病斑がみられる場合は、防除部を削り取りましょう。うどんこ病によるボケ芽等はせん定時に除去し、第一次伝染源の密度低下を図りましょう。ハダニ類、カイガラムシ類の発生が多い園では、休眠期の防除を実施しましょう。

##### (2) もも

果樹研究所におけるせん孔細菌病の春型枝病斑の初発生は、3月23日に確認されました。そのため、病斑の早期発見とせん除を徹底し、病原菌の初期密度の低下を図りましょう。

また、開花が早まる見込みのため、開花直前の防除が遅れないように注意してください。

ハマキムシ類の発生が多い場合は、発芽期から開花期前後に防除を実施しましょう。

なお、有機リン剤等の訪花昆虫に影響がある薬剤を使用する場合は使用時期に注意してください。

##### (3) なし

果樹研究所における黒星病の子のう胞子の初飛散は、3月17日（去年は4月10日）に確認されたことから、発芽一週間後の防除が遅れないように実施しましょう。

##### (4) ぶどう

晩腐病の防除のため、発芽前の防除を徹底するとともに、前年の房の取り残し部分、巻きひげ、結果母枝の枯死部などを丁寧に除去し、越冬病原菌密度の低下を図りましょう。

ハダニ類の発生がみられる園では、発芽前に防除を実施しましょう。

#### 病虫害の発生予察情報・防除情報

病虫害防除所のホームページに掲載していますので、活用してください。

URL: <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>

農薬散布は、農薬の使用基準を遵守し、散布時の飛散防止に細心の注意を払いましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 技術革新支援担当 TEL 024(521)7344

(以下のURLより他の農業技術情報等をご覧いただけます。)

URL: <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>